＝発行＝
速野学区
社会福祉
協議会

ひと

生を受け、雨あり、
風あり、嵐あり、
順風ありの世の中を
限りある身のため

題字は、水保自治会の
西岡芳枝さん（96歳）

温かい周囲に見守られて

家庭は勿論一歩外へ出ると皆々様に温かく接してもらっています。車と出会うとニコっと会釈して過ぎてくださる人あり、また、わざわざ車を止めて話かけてくださる方がいらっしゃいます。歩いていると「おばあちゃん、水持ってるか？水飲みや！」「気をつけて転ばないように。」と声をかけてくださいます。

こんな温かい水保町に日暮らしできることを幸せに感謝しております。

限りある身体、健康に気をつけ余生を楽しく生きたいと願っております。

介護保険が変わりました

★ 平成27年度の介護保険法一部改正ポイント ★

今年度から変更となる介護保険制度の主な内容について、お知らせします。

1. 介護保険サービスを利用したときの**サービス単価が変更**（サービス内容の種類で増減額が異なります）となりました。
2. 特別養護老人ホームへの新規入所は、原則として**要介護3以上の人**が対象となりました。＊但し、特例的に入所が認められる場合があります。
3. サービスの利用者負担割合は、平成27年7月末まで一律一割の負担でしたが、所得が一定以上ある65歳以上の人について、平成27年8月から負担割合が**二割に変更**となっています。また、利用者が二割か一割負担のどちらか把握できるように、**「負担割合証」**が交付されています。

地域包括支援センターでは、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、保健師などが自宅や地域へお伺いし、皆さまの健康や介護に関する相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

電　話：581-0330
ＦＡＸ：581-0203

小学生福祉作文（作文は昨年度書かれたものです。）

ぼくたちにできること

三年　源　浩輝

ぼくは、かがやきの学習で、ぼくわたしたちにできること、という勉強をしました。ぼくたちが、体の不自由なかたにできることは、たくさんあることがわかりました。たとえば、目の不自由なかたには、「ここはだんさがあります。」「このさきは、まがってください。」など、歩いているときに声をかけると、目の不自由な人の役に立つことができるということがわかりました。足が不自由な人であれば、車いすをおしたりして、手助けすることができます。お年よりのかたであったら、電車や、バスでせきをゆずったりすることができます。

この学習を通して、体の不自由なかたの役に立てるようになりたいと思いました。

認知症のひいおばあちゃん

六年　川端　彩愛

私のひいおばあちゃんは認知症です。おばあちゃんはひいおばあちゃんと一緒に暮らして介護しています。

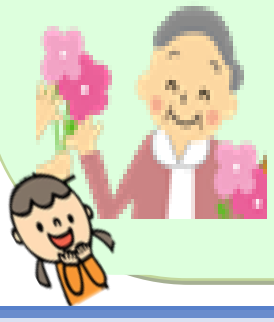
ある日、おばあちゃんの家へ行きました。いつもなら、「こんにちは、さえちゃん」と名前まで覚えていてくれていて、あいさつをしていましたが、今回は何も言ってくれませんでした。私が来て五分たつとひいおばあちゃんはトイレに行きました。そして五分後またトイレに行きました。いつもとちがうおかしな行動におどろきました。何度も何度も「おかしを食べるか。」と、ことわっても言ってきたり、私の名前をまちがえて言うひいおばあちゃんに、イライラしました。そして、もう話しかけてきてもこたえないことにしました。

しかし次の日、そんな私の考えを変えることがありました。床に座っていた私にざぶとんをひいおばあちゃんが持ってきてくれました。弟の分まで持ってきました。また、私に「暑くないか。」と聞いて、冷ぼうまで付けてくれました。

ひいおばあちゃんのこの行動から、認知症の人にも人の役に立ちたいという思いがあることが分かりました。私はとてもうれしかったし、認知症についてかんちがいしていたなと思いました。認知症になっても、その人の良いところはなくなるわけではないし、感情もなくなるわけではないことが分かりました。

また、介護しているおばあちゃんにもひいおばあちゃんにも笑顔でやさしく話しています。ひいおばあちゃんはとてもうれしそうです。

これから、ひいおばあちゃんや認知症の人に笑顔で話すことが私にできることだと思います。次に、おばあちゃんの家へ行った時は、何もこたえないようなことはせず、元気に「こんにちは。」と言いたいです。



★各部会だより

◎ボランティア部会

6／18 サロンボランティア講座

7／16 館外研修（小鳩乳児院の見学他）

◎啓発部会

7／4 地域福祉活動報告会

①美崎自治会の取り組み発表

②グループワーク

◎広報部会

5／26 館内研修

守山市秘書広報課の高橋さんをお招きし『速野の福祉』を初めて読む人にももっと分かりやすい紙面を目指して研修をしました。

9／9 館外研修

読売新聞社大津支局を見学（予定していましたが台風のため延期になりました）

10／18　学区民の集いで俳句・川柳・標語の募集

広報部会では、福祉や健康に関する「俳句・川柳・標語等」を募集します。

速野学区民の集いの日に募集しますので、それまでに考えておいてください。

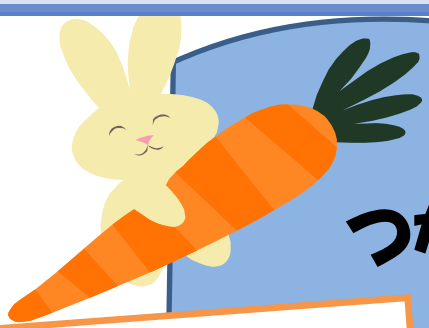
◎福祉協力員連絡会

6／19　館内研修

祝　受　賞！

９月１日、速野学区福祉協力員の皆さんが、永年にわたる活動に対し滋賀県赤い羽根共同募金会より優良奉仕団体表彰を受賞されました。

おめでとうございます！



おすそわけで つながる速野 一周年

つながって…

327人

家庭の余剰品を提供してくださった方。「すこやかサロン」に参加し品物を受け取ってくださった高齢者さん。
皆さんつながって３２７人！

これからも多くの方々とどんどんつながっていきます

木浜地域の地蔵盆より

地蔵盆の由来

地蔵菩薩は、仏の代わりに世に現れ、人々を仏の道へ導き救うと言われています。

また、子どもを守るとも旅人の安全を守るとも言われています。

速野学区にもたくさんの石像のお地蔵さんが祭られています。老若男女がお参りする地蔵盆。仏さまと向き合う法要が今も続けられています。

写真は福寿地蔵尊の法要

地域で見かけた ホットな光景

きれいな花を咲かせてくれて
ありがとう！
これからもお花の世話を
よろしくね！

ネオ・ベラヴィータ守山
花街道